

平成29年5月25日

会員の皆様へ

一般社団法人愛知県医療ソーシャルワーカー協会
会長 小林哲朗（公印略）

研修会の開催について（ご案内）

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、下記の要項で研修会を開催いたしますので、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

敬具

記

専門研修 ①②

■テーマ：人生の最終段階の意思決定支援Ⅰ・Ⅱ

～当事者の意向を中心にした支援の実際～

■講師：田村 里子 先生（一般社団法人 WITH 医療福祉実践研究所）

■日時：Ⅰ 意思決定支援と意向の明確化 平成29年7月2日（日）9:30～16:30
Ⅱ 臨床倫理的視点と合意形成 平成29年8月6日（日）9:30～16:30

■会場：日本福祉大学 名古屋キャンパス北館7B階
（名古屋市中区千代田5-22-35 ☎052-242-3022）
*会場までのアクセスはホームページ等をご参照ください

■対象：上記2回の研修日程に参加できる方
以下の①～③に該当される方は、是非ご参加ください。
①ワーカー歴4年目～10年目の方（必須）
②ワーカー歴11年目以上の方（推奨）
③職場内においてソーシャルワーカーの育成や学生の実習指導に携わっておられる方（推奨）

■定員：20名（先着順）※非会員より会員を優先して早めの申し込み開始としています。

■参加費：会員 10,000円（2回で） 非会員 20,000円（2回で）

■申込：別紙参加申込書に記入の上、下記までFAXをお願いします。
申込み開始 会員：5月25日（木）～ 非会員：6月5日（月）～

■締切：平成29年6月23日（金）

■問合先：安城更生病院（前田）
☎0566-75-2111（代） FAX:0566-75-2523（直）

■本研修の紹介■

厚生労働省の施策として平成27年度より「人生の最終段階における医療体制整備事業」が実施されました。そして「患者の意思を尊重した人生の最終段階における医療体制について」昨年度は全国200医療機関を対象に医療チームでの参加の中で多職種向けの研修が実施されています。「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」も策定される中、患者と常に向き合う医療ソーシャルワーカーは、どのように意思決定のプロセスにかかわっていくのかという点も、より一層重要な課題となります。

患者本人を中心としつつも、患者を支える家族に対して、また多様で複雑な家族背景を持つ方々も増える中、患者の意向と家族の意向が異なる場合の支援や、患者の判断能力のアセスメントなど、相談場面の根拠を示しながら医療チームの中でも共有する力が求められます。この研修は、全国で活躍される講師をお招きし、本来なら4回で実施する研修をまず2回1セットの研修として企画しました。次年度にはこの研修に続く研修を企画する予定でいます。患者の意向を中心とした支援の実際を多くの方に学んでいく機会としたいと思います。

■講師の略歴紹介■ 田村 里子 先生

一般社団法人 WITH 医療福祉研究所のがん・緩和ケア部部長をされている医療ソーシャルワーカーです。

社会福祉士 認定社会福祉士（医療分野） 認定医療社会福祉士

1984年より東札幌病院にて緩和ケア病棟を中心に、オンコロジーソーシャルワーク（がん患者とその家族への相談援助、心理社会的支援）を実践。2007年厚生労働省「終末期医療の決定プロセスの在り方に関する検討会」委員としてガイドラインの策定に参画。2014年まで厚生労働省の「終末期医療に関する意識調査等検討会」委員。2014年より現職。

北星学園大学社会福祉学部非常勤講師。日本医療社会福祉学会理事。日本緩和医療学会広報委員他。



■専門研修委員会からのメッセージ■

今回の企画は、中堅ベテラン以上の方々を対象に、医療ソーシャルワークの支援の質を向上させることをねらいとしたものとなっています。講師の田村先生はご存知の方も多いかと思いますが、全国でソーシャルワーカーの養成に携わってみえます。意思決定の支援という言葉が言えればたやすいですが、患者自身がよりよい選択をするために必要な情報、プロセスをどのように提供し、一緒に考えるのか。また、医療チームの一員としての専門職としての対応力を磨くためには、1日研修でじっくり取り組むこの機会は有益だと思います。田村先生との打ち合わせの中では、第1回研修を受け、次回までの課題を設定し、次回まで達成に向けた実践を積む。第2回はその振り返りから、研修を継続展開する。という企画構成で、演習も含めた参加体験型の研修となっています。

2日間を2回に分けての研修企画となっていますが、2日間共に予定をあけていただき、是非研修にご参加ください。

■一般社団法人愛知県医療ソーシャルワーカー協会 専門研修委員会■

JA愛知厚生連 安城更生病院 前田美都里
JA愛知厚生連 海南病院 嶋田 和寛
JA愛知厚生連 江南厚生病院 野田 智子
西山クリニック・日本福祉大学 山口 みほ